アンチ・ドーピングとは？

クリーンで公正なスポーツを守るための活動

詳細はこちら

アンチ・ドーピングとは｜日本アンチ・ドーピング機構 | Japan Anti-Doping Agency (JADA) (playtruejapan.org)

うっかり、使用すると、ドーピング違反になります

市販薬
とくに風邪薬

栄養ドリンク
のど飴

サプリメント
特に認証マークのないもの

喘息の薬

緑内障の目薬

漢方薬

ステロイドの薬
- 内服
- 注射
- 粘膜への塗布　など

ここに示したのは一例です

このほかにも、ドーピング禁止薬があります

1 ホルモン系のお薬

成長ホルモン、
性ホルモン、
不妊治療薬 など

2 気管支ぜんそくの薬・アレルギーの薬

気管支拡張薬、
アレルギー性鼻炎の薬 など

3 利尿を促す薬・興奮させる薬

利尿剤、心臓の薬、
精神刺激薬、高血圧の薬 など

4 その他

サプリメント、
市販薬、麻酔薬、
骨粗鬆症の薬 など

薬やサプリメントを使用する前に必ず専門家に相談・確認しましょう。

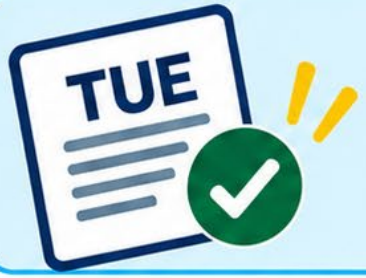
市販薬やサプリメントでも、禁止物質が含まれている場合があります。
自己判断で使用せず、医師・薬剤師、またはアンチ・ドーピングの専門家に相談してください。

ドーピング禁止薬を使って治療を行いたい！どうしたらいい？

ドーピング
禁止薬を使って
治療を行いたい！
どうしたらいい？

ドーピング禁止薬でないものに
変更できるものは、
変更しましょう。

治療上必要で、ドーピング禁止薬を使って
治療を行う場合は、**TUE申請の手続き**が必要です。



TUE申請の結果、使用が認められると
TUE許可書が発行されます。
その許可書のコピーを携帯しておくことが大切です。

※TUE申請が必要な場合は**連盟HPのお問合せメール**から、ご連絡ください。
尚、メール対応となりますので、PCメールが受け取れるアドレスをご使用の上
「TUE申請について」の件名でお問い合わせください。

サプリメントは自己責任です

サプリメントにも、ドーピング禁止物質が含まれていることがあります。

最近、サプリメントを利用する人が増えていますが、

サプリメントにも
禁止物質が含まれていることがあります。

成分表示を見ても、すべての成分が表示されているとは限りません。

サプリメントを選ぶときは

第三者の認証を受けた製品を選びましょう。

認証を受けた製品は、禁止物質が含まれていないことが
検査で確認されています。

代表的な認証マークの例

INFORMED CHOICE インフォームドチョイス

INFORMED SPORT インフォームドスポーツ

このようなマークがついた製品は、アンチ・ドーピングの
国際的な基準に基づく検査を受けています。

認証マークのないサプリメントは

使用しないことをおすすめします。

特に、海外製のサプリメントは
禁止物質が含まれているリスクが高く、注意が必要です。

漢方薬について

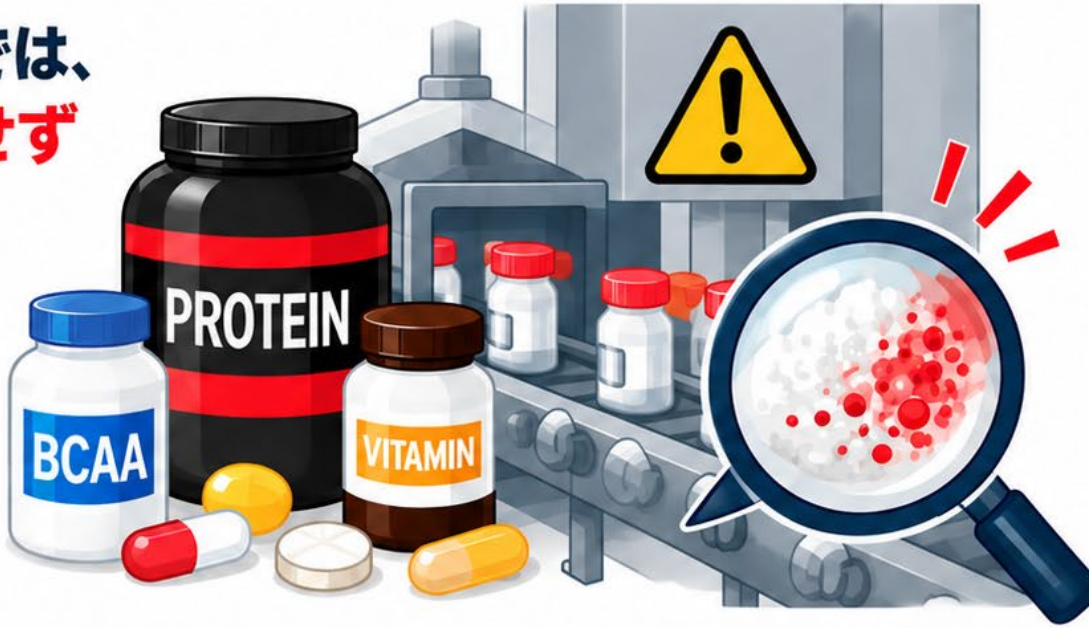
漢方薬は成分が確認できないため、
禁止物質が入っていないといいきれません。**使用しないでください。**

サプリメントを使用する前に、
専門家（医師・薬剤師・
アンチ・ドーピングの専門家）
に相談しましょう。

サプリメント・薬のコンタミネーション(混入)に注意!

サプリメントや薬の製造過程では、
ドーピング禁止物質が意図せず
混入する可能性があります。

表示されている成分以外の成分が
含まれているわけではありませんが、
製造ラインの共有などにより、
微量の禁止物質が混入してしまうことがあります。



万が一のために、
使用した薬やサプリメントの
製造番号やロット番号を保管しておきましょう。

製品の追跡調査ができるように、
購入した製品の製造番号やロット番号を
記録・保管しておきましょう。

製造番号・ロット番号の例

ドーピング検査について

ドーピングコントロール大会では だれでも、ドーピング検査対象となりえます。

検査対象となって慌てないためにも、下記のサイトで
検査の一連の流れについて事前に確認しておきましょう。

通知

検査対象に
選ばれると、
通知を受けます。

検査会場へ移動

係員の指示に従い、
検査会場へ移動
します。

検体採取

尿や血液の採取を
行います。
（検査の種類によって
異なります）

書類確認

必要な書類を確認・
記入します。

検体の密封・提出

検体を密封し、
係員に提出します。

検査の一連の流れについて、
詳しくは こちらのサイト をご覧ください。

尿、血液、アスリート・バイオロジカル・パスポートの検査手続き
| JADAクリーンスポーツ・アスリートサイト